

ぎょうむそくほう 【ダイジェスト】

No.723

2026年9月14日

東海旅客鉄道労働組合

<https://www.jrtu.jp>



「ハートフルカンパニービジョン ⇒2027」の取り組み推進！

業務委員会の開催

提案制度の見直しについて説明を受ける

9月14日、業務委員会を開催し、会社から「提案制度の見直しについて」の説明を受け、議論を展開した。

会社からは、「今後、当社が経営理念をより高いレベルで実現していくためには、「自由に考え、大いに議論し、粘り強くやり抜く」という企業文化を醸成していくことが重要である。そのためには、社員が自ら課題を見出し、解決までやり抜く経験を重ねていく必要がある。そこで、社員の創意工夫や挑戦意欲を起点とした、課題解決の取り組みを支援する新たな枠組みとして、「**Challenge Idea+ (チャレンジアイデア・プラス)**」を開始する。」との説明を受けた。

「Challenge Idea+」は、社員本人の発意を起点に、自ら設定した課題の解決に取り組む仕組みとされ、本人の意思による任意のエントリーを基本とし、箇所長の承認を得たうえで、1か月以上～6か月程度の期間で、勤務として取り組みを実施する考えであることを確認した。また、支援管理者を指定し進捗確認・必要な助言等を行うことや、取り組みは勤務として取扱い、顕著な成果を上げた取り組みに対しては各表彰が設けられることを確認した。さらには、エントリーや取り組みの参加の有無そのものは評価しないこと、過度な負担とならないよう適切な労働時間管理を行うこと等を確認した。

そのうえで、業務研究やOne STEP活動等の様々な取り組みとの棲み分けや、勤務・人事考課等の取扱いを確認し、社員・管理者への負担や制度運用に対する懸念等について議論するとともに、一人ひとりの自発的な創意工夫や挑戦につながる制度となるよう、制度の趣旨を丁寧に周知し、適切な運用を徹底するよう主張した。

JR東海ユニオンは、今後も組合員の声を丁寧に汲み取り、様々な課題の解決に向け、会社と広範な議論を展開していく。

※議論内容の詳細については、後日発行の「ぎょうむそくほう」をご確認ください。

「Challenge Idea+（チャレンジアイデア・プラス）」の開始について

今後、当社が経営理念をより高いレベルで実現していくためには、「自由に考え、大いに議論し、粘り強くやり抜く」という企業文化を醸成していくことが重要である。そのためには、社員が自ら課題を見出し、解決までやり抜く経験を重ねていく必要がある。そこで、社員の創意工夫や挑戦意欲を起点とした、課題解決の取組みを支援する新たな枠組みとして、「Challenge Idea+（チャレンジアイデア・プラス）」を開始する。

1. 目的

- (1) 社員の創意工夫を促し、挑戦意欲の向上を図る
- (2) 社員自ら課題を設定し、解決までやり抜く力を高める
- (3) 改善する風土を醸成し、組織活性化を図る

2. 概要

- ・社員が自ら設定した課題や挑戦したいテーマをエントリーし、箇所長の承認を経た上で、業務として取組みを実施する。エントリーは任意、個人を原則とする。
※サポートメンバーを指定する場合は2～3名程度とする。
- ・内容は職場の課題等に関連し、取組み期間が1か月以上～6か月程度のものとする。
- ・箇所長はテーマ承認後、支援管理者を指定し、進捗・活動時間管理等を行う。
- ・顕著な成果を上げた取組みに対して、表彰する制度を設ける。
(箇所長表彰、所属長表彰、特別表彰（部門賞・最優秀賞）)

3. 対象社員

- ・現業機関に勤務する社員（休職者、管理者を除く）

4. 実施時期

2027 年 4 月

5. その他

- ・活動時間は労働時間とする。所定労働時間外に実施する場合は、時間外労働として月4時間程度／人を目安とする。
- ・「Challenge Idea+」の開始に伴い、「提案活動」は廃止する。ただし、2027 年 3 月末日までに提出された提案は、現行制度により 2027 年度末までに審査・結果の通知を行い、表彰するものとする（不採用を除く）。

以上

Challenge Idea+ (チャレンジアイデア・プラス) の開始について



人事部人事課(組織開発)
2026年9月14日

1

「Challenge Idea+」の開始について



今後、当社が経営理念をより高いレベルで実現していくためには、「自由に考え、大いに議論し、粘り強くやり抜く」という企業文化を醸成していくことが重要である。そのためには、社員が自ら課題を見出し、解決までやり抜く経験を重ねていく必要がある。そこで、社員の創意工夫や挑戦意欲を起点とした、課題解決の取組みを支援する新たな枠組みとして、「Challenge Idea+ (チャレンジアイデア・プラス)」を開始する。



Challenge Idea+ (チャレンジアイデア・プラス)

■ 目的

- (1) 社員の創意工夫と挑戦意欲の向上を図る
- (2) 社員自ら課題を設定し、解決までやり抜く力を高める
- (3) 改善する風土を醸成し、組織活性化を図る

■ 開始時期：2027年4月 (現行の「提案活動」は2027年3月末日をもって終了)

2

Challenge Idea+とは

「Challenge Idea+」の取組みフロー・概要は以下の通りです



活動概要

- ・ 現業機関に勤務する社員が対象
- ・ 個人での取組みを基本
- ・ 取組期間が1か月以上～6か月程度のもの
- ・ 支援管理者が進捗・労働時間等を管理
- ・ 顕著な成果を上げた取組みは表彰 🏆

🚩 ここがポイント

- ・ 箇所長承認後の活動時間は**労働時間**
(時間外労働は**月4時間**程度を目安)
- ・ エントリーは**任意、個人**